

経営比較分析表（令和6年度決算）

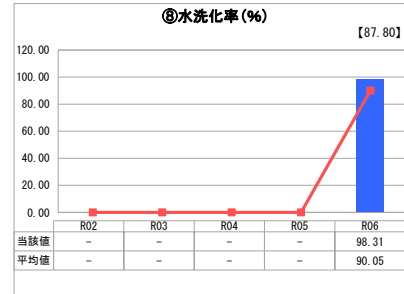
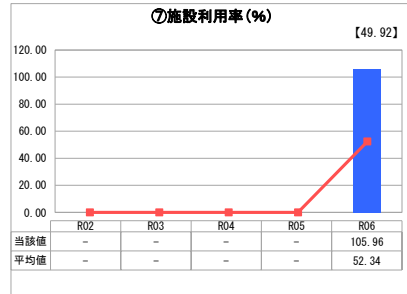
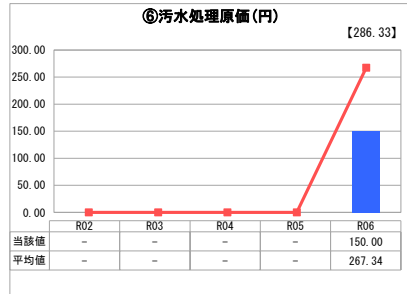
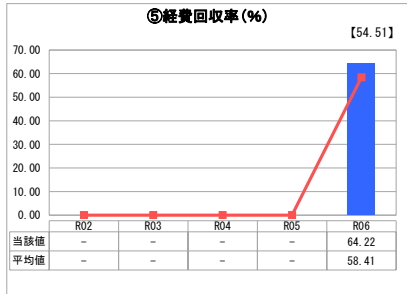
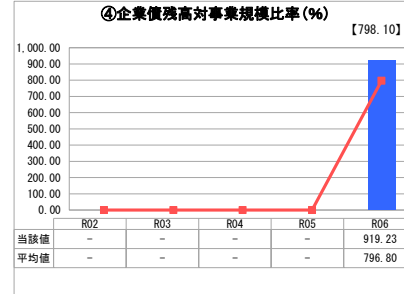
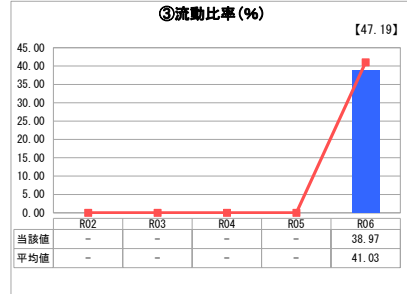
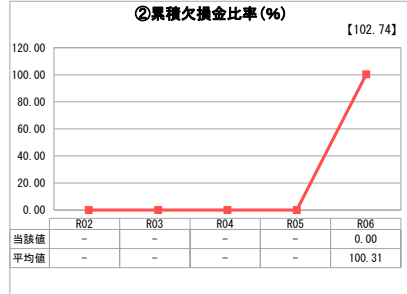
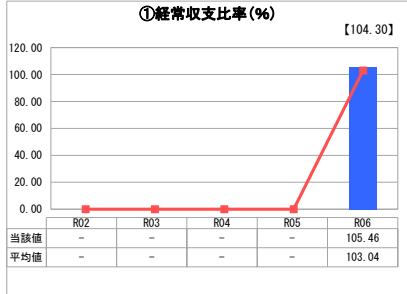
栃木県 芳賀町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	84.73	19.31	98.00	3,561

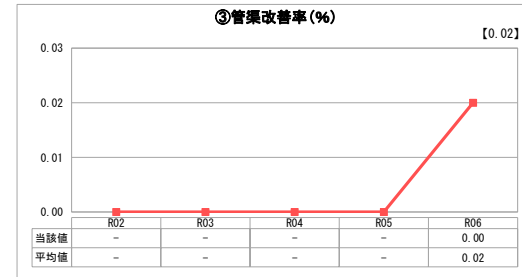
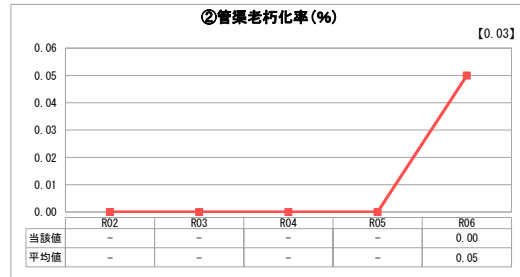
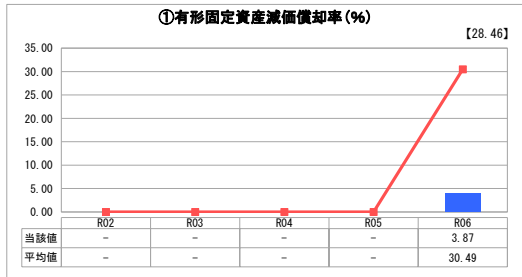
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
15,377	70.16	219.17
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,959	1.50	1,972.67

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

芳賀町の農業集落排水事業は、稲毛田・上給・城興寺・五行・東水沼・社后・ハツ木・下高中部の8地区で採択されており、全地区において整備は完了している。現在は維持管理が主であり、劣化した施設機器の修繕や交換を計画的に進めている。

令和6年度より地方公営企業法を適用し、会計制度が変更になったため、前年度までの比較はできないが、①経常収支比率は黒字であることを示す100%を超えており、経営状況は概ね良好であると言える。

⑤経費回収率については、類似団体の平均値は上回っているが、100%を下回っているため、費用の削減及び使用料の改定を検討していく必要がある。

加入率が高く、全地区の整備が完了していることから、新規加入による増収は見込めず、人口減少に伴い、使用料収入は今後減少していくことが予想される。一方、施設の老朽化等による修繕費用は増加が見込まれるため、使用料の見直しなどにより、今後適正な料金収入を検討していく必要がある。

2. 老朽化の状況について

稲毛田地区、上給地区、城興寺地区、五行地区は町内8地区の中でも供用開始が早く、使用年数が35年程度となっている。不明水のある箇所については、調査を実施し管渠修繕を進めていく予定である。老朽化した管渠については、計画的な更新を検討していく。

全体総括

町内全8地区の整備が完了しており、今後、人口減少による収入の減少及び施設の老朽化に伴う更新需要の増加が見込まれるため、更なる費用削減及び施設の統廃合等を検討し、最適化を行っていく。

また、近年の物価高騰による営業費用の増加を賄うために、適正な使用料を確保すべく、使用料の料金体系等の見直しを行う。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。